

かりこぼん

平成の桃源郷へようこそ



宮崎県西米良村

かりこぼん

もくじ

桃源郷とは
カリコボーズってなあに?2

生涯現役元気村
「カリコボーズの休暇村・米良の庄」3

西米良の自然と四季まつり

春めぐり4
夏あそび5
秋づくし6
冬まつり7

西米良の交流拠点

西米良温泉ゆた〜と8
双子キャンプ村9
川の駅「百菜屋」・湖の駅10
西米良MAP11・12
おがわ作小屋村13・14

西米良の歴史

西米良の史跡15・16
菊池記念館・西米良村歴史民俗資料館17

西米良の交流制度

ワーキングホリデー・ふるさと村民制度
ふるさと柚子の木制度18

西米良の特産品

特産品・ほおずきアート・体験19・20

西米良のご案内

商店街MAP・宿泊案内21
交通アクセス・バス時刻表22

平成の桃源郷にしめら

西米良村はどこへ行っても、村人がとっても元気。村のどこかで楽しいお祭りや民話語りなど、昔ながらの豊かな暮らしをしている村人が、きっとあなたを温かく迎えてくれます。そして人と出会う旅を西米良村でしてみませんか？



桃源郷とは

中国の詩人

「陶淵明（生365年〜没427年）」著

「桃花源記」より抜粋

「昔、ある一人の漁師が山に迷い込み、山道を進むとそこに一つの里を見つけました。そこでは、村人みんなで農耕に励み、日が沈むと家に帰り休み、作物は植ええられるべき季節に従って植えられていました。家々からは鶏や犬の鳴き声も聞こえ、祭り事も、昔のしきたりのままに行われ、村人の身なりも素朴なものでした。子供達は、思いつくままに歩き歌い、ゴマ塩頭の老人も機嫌よく互いの家を訪問していました。花が咲くと春の季節を知り、落葉し始めると秋の訪れを知っていました。」

どこか似たような場所を思い出しませんか？そう！今いる西米良の姿。それは、都会のように「何でもモノが豊かにある場所」ではなく、「住んでいる人が心豊かに暮らしている」という理想郷。私たちは、そんな村を守り続けていきたいと考えています。



カリコボーズってなあに？

カリコボーズとは、米良地方に伝わる精霊のことで、



春の彼岸から夏にかけては川に下り「水の神」に、秋の彼岸から冬にかけては山へ登り「山の神」になると言われています。村内各地域にいろいろな逸話が残っており、村の語り部によって語り継がれています。ちょっとした、いたずらもしますが、決して悪さはしません。地元では、山の仕事をするとき、塩や米、焼酎を供えて山仕事が無事にいきますようにと、山の神さまに祈る習慣があり、これを怠ってしまうと、「カリコボーズ」が家をガタガタと揺すり驚かせることがあるとも言われています。こうして今でも、豊かな自然の米良の山里に生き、人々の暮らしを見守っています。



桜が満開のまつり会場



西米良神楽の一つ、越野尾神楽の披露

山桜にソメイヨシノ、菜の花、ミツマタ、アケボノツツジ、岩ツツジや花菖蒲など、山々に咲く春の彩りに村の精霊「カリコボーズ」も満足気な様子です。

桜ロードやダム周辺の桜、そして山々に咲き誇る山桜を楽しむことができます。民話語りや越野尾神楽、地元婦人会の方々が真心込めて作った手料理も味わうことができます。(3月下旬)



こしのお春まつり

会場：越野尾小学校跡



西米良村の特産「ほおずき」で作ったひな飾り

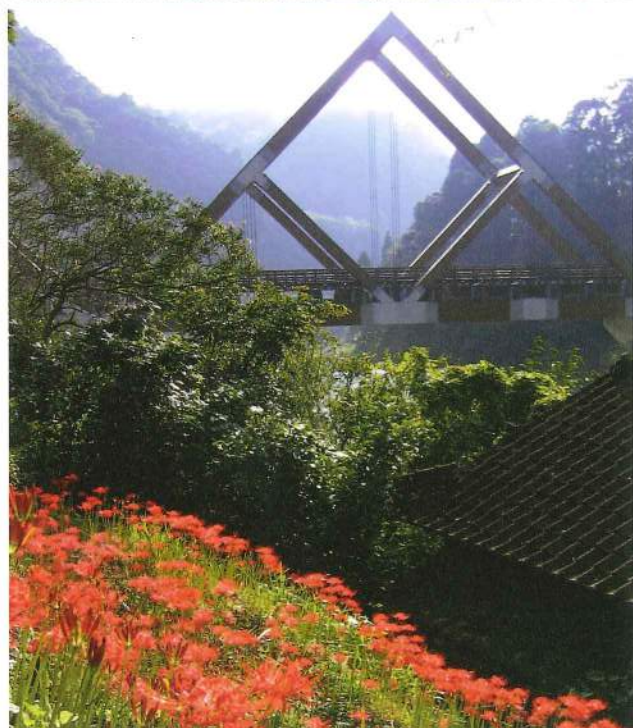


村の精霊「カリコボーズ」の手作りひな飾り

桃の節句が近づく、西米良村はひな祭り色に染まりはじめます。村所商店街や西米良温泉ゆたくと、川の駅「百菜屋」、湖の駅、菊池記念館、おがわ作小屋村など、村内各所で華やかな雛飾りを見ることができます。(2月初旬～3月初旬)

カリコボーズのひなまつり

会場：村内各所



生涯現役元気村「カリコボーズの休暇村・米良の庄」

米良・菊池の歴史は、1501(文亀元)年、南朝方の武将として名高い肥後菊池氏第22代能運が室町幕府の追討による一族の根絶を憂い、その一子を日向の国米良山に密かに落ち延びさせたことから始まります。入山した菊池氏は米良姓を名乗りましたが、文武に優れ、礼節を重んじ、合議制による民主的な施政を敷き、幕末までの約400年にわたり村を統治しました。版籍奉還に際し、最後の領主である則忠公は領地のすべてを領民に分け与え、人々の生活を援助。その遺徳は今なお米良の歴史とともに語り継がれています。現在、西米良村は人口約1300人の小さな山村ですが、生涯現役元気村を合言葉に、日本初の「西米良型ワーキングホリデー制度」をはじめ、交流人口促進による村の活性化に取り組んでいます。また、魅力ある自然や風土、歴史、文化など地域特性を活用し磨き上げるにより、心のふるさと「平成の桃源郷」を目指し、村民全員で元気な活力ある村づくりを行っています。

米良三山やま開き

安全祈願祭・石堂山・台目コース登山口



4月29日(昭和の日)に開催される米良三山(市房山・石堂山・天包山)の山開き。登山客の安全を願う神事後、登山を行います。アケボノツツジ、ミツバツツジが咲き、ブナなどの広葉樹林の木々が芽吹く春登山を楽しんでみませんか?



カリコボーズの山菜まつり

会場：おがわ作小屋村周辺



ゴールデンウィークの期間中に行われている小川地区の春祭り。山菜の天ぷらや山菜おこわなど、山菜料理の実演販売のほか、地採れ山菜や特産品の販売も行われる、西米良村の春の旬が集まるイベントです。



地採れの山菜



山桜にソメイヨシノ、菜の花、ミツマタ、アケボノツツジ、岩ツツジや花菖蒲など、山々に咲く春の彩りに村の精霊「カリコボーズ」も満足気な様子です。

「たけのこ」「わらび」「ぜんまい」「ふきのとう」などの山菜も芽吹き、村内に飾られるひな飾りとともに、訪れる人々に春を告げてくれます。

一ツ瀬川



青空にモクモクと湧いてくる入道雲、深緑の渓谷、これ以上なく澄み切った川にきつとあなたも感動することでしょう。山々にはアジサイやネムの花が誇らしげに咲き誇り、セミの声や木々のざわめきなど、

夏の風物詩が楽しめます。一ツ瀬川では川遊びや鮎釣りを楽しむ人々で賑わっており、村の精霊「カリコボーズ」もそっと静かに見守っています。

かりこぼうず大橋

樹齢約50年の宮崎県産スギを使用した木造車道橋。車を通る木造橋としては日本最長(140m)の橋であり、特徴のある三角形のトラス(けた組み)は、米良三山(市房山、石堂山、天包山)をイメージしたものです。



夏の青空に映える、かりこぼうず大橋

豊かな自然が良質の魚をはぐくみ、好釣場の多い一ツ瀬川(総延長91km)。アユ、フナ、オイカワなど息する魚は多彩で、宮崎県で屈指の清流です。

清流「一ツ瀬川」は川魚の宝庫。毎年、村内はもとより、県内外から数多くの釣り愛好家が訪れています。

■遊魚料	日約1,500円
	年約4,000円
■遊魚期間	
ヤマメ	3月1日～ 9月30日
ニジマス	4月1日～ 1月31日
ウグイ	5月1日～ 3月30日
アユ	6月1日～12月31日
■連絡先	
	西米良漁業協同組合
	電話/0983-36-1111



西米良の自然の中、釣りを楽しむ人々

やまびこ花火大会

会場：村所一ツ瀬川 河原



周囲が山に囲まれているため「やまびこ」の音が「ドーン！」と強烈に響き渡る、県内でも有数の花火大会。フィナーレを飾るナイアガラは、川沿い一円に広がり、その美しさに見惚れてしまいます。(8月第一土曜日)



花火大会のフィナーレ「ナイアガラの滝」

川あそび

泳いだり、潜ったり、川には楽しい遊びがいっぱい！川の生き物などを観察したり、川のせせらぎに耳を澄ましたりと、子供から大人まで楽しみ方は様々です。



子供達も大はしゃぎ!

にしめら山まつり

会場：双子キャンプ村



会場内を練り歩く、西米良村代々の君主

西米良村の歴史や文化を、より多くの人と楽しもうと名君・則忠公もびつくりの「武者行列」や、山々に響いたとされるカリコボーズの声に因んだ「やまびこ 大声選手権」など、遊び心満載のまつりを開催します。



米良太鼓の披露などもあります

蛇淵

小川川の上流、神秘的な雰囲気にも包まれた木製の展望台から、岩々に囲まれた小さな淵を見ることが出来ます。この淵には、漆にまつわる兄弟の民話が残っています。



手つかずの自然が残っているのは西米良村ならではの

うるし兄弟民話

昔、うるしをとって生活をしている兄弟がいました。兄は上質のうるしを淵に隠し金に替えていました。このことに気づいた弟は、こっそりうるしを盗んで売り歩いていました。それを知った兄は、弟が淵に近づかないように木彫りの竜を仕掛けました。後に兄がうるしを取りに淵へ行ってみると、そこには生きた竜がおり、必死の思いで逃げ帰りました。兄弟は欲を出したことを深く反省し、以後、兄弟仲良く暮らしたのでした。



とんちんかちん

布水の滝

落差75m、幅20mの雄大な景観は圧巻。普段は水量が少なく、落ちてくる水が霧のようになり、布のように見えることから布水の滝といわれています。

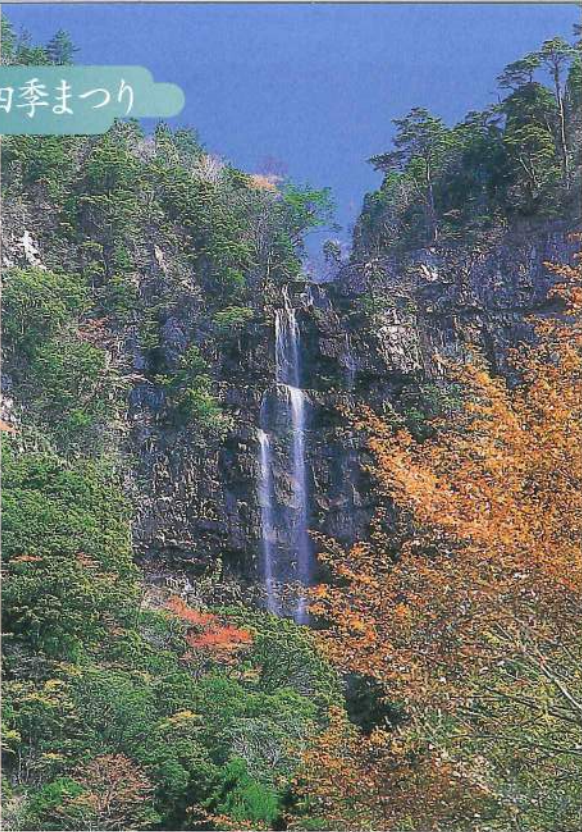
こづまろやかかりこぼうずの驛まつり

会場：村所地区

西米良村の中心地である「村所地区」のお祭り。「こづまろ」とは米良言葉で「集まる」という意味で、みんなで集まって楽しもうやうというお祭りです。一緒に踊ったり、郷土の味を楽しんだり、ステージイベントなどもあり、皆で盛り上がり！(9月下旬)



紅葉の時期、滝の周辺は彩りを増す



紅葉にススキ、彼岸花に、クサギナの花と、山々も一斉に装いを始めます。棚田では村人が秋の実りの収穫にいそしんでいます。「カリコボーズ」も川か

ら山へ戻り紅葉を踏み分けながら、元気に「ほいほい、ほいほい」と駆け回っていることでしょう。



ピーヒヤラ、ドンドン、ピーヒヤラ。どこからか聞こえてくる笛と太鼓の音。どうやら「カリコボーズ」も川から山に戻ってきたようです。温泉には「ほおずきツリー」が飾られ、村人は門松づくりやしめ

縄づくりなど正月飾りづくりに大忙し。村を日々守ってくれる森や豊かさをもたらしてくれた田畑や自然に感謝し、新しい年の初めを迎えようとしています。



村民+1 (カリコボーズ)の数のほおずき灯りが飾られます

12月になると、巨大なほおずきツリーが西米良温泉ゆたくとに現れます。大きなもみの木に、手作りのほおずきの灯火が、いっぱい飾られた、西米良ならではのほおずきツリーです。



児原稲荷神社の神楽

西米良神楽

冷たく張り詰めた空気の夜、静かな山里に、神楽のにぎやかな笛や太鼓の音色が響きます。人々が杯を酌み交わし、一年の労をねぎらう貴重な一夜です。



米良神社の神楽



冬の語りと申すカッチンの会場、おがわ作小屋村の民話館

冬の語り と申すカッチン

西米良村には古くから語り継がれている民話が数多く残っています。この民話を継承する語り部が一同に会するのが、この冬の語りと申すカッチンです。(12月中旬)
※と申すカッチンとは、お話の終わりを表す言葉です。



方言も交えながら語られる、昔ながらの民話

やまびこロードレース大会

地元青年会の主催で行われるロードレース大会。沿道のあたたかい応援に励まされながら西米良村内外のランナーが颯爽と街中を走り抜けます。(1月中旬)



元気いっぱいスタートする米良っ子

西米良温泉ゆたくと

「ゆたくと」とは地元の言葉で「のんびり・ゆつくり」という意味。温泉入浴・宿泊・食事・買い物ができる村の憩いの場であり、自慢の温泉は、つるつるすべすべになる美肌の湯と評判。露天風呂やサウナもあり、心身ともにゆたくとできます。



陽の湯 やわらかな湯と檜の香り、山々の風景とあたたかな日差しに癒されます



御食事処 旬の素材をお楽しみください



物産販売 西米良村の旬の物や加工品をはじめとした物産品を買い求めることができます

語り亭 毎月第1・第3日曜日は無料で民話語りを披露(その他の日は1回300円 事前予約)



川の湯 自然豊かな緑に囲まれた屋根付きの岩風呂



大浴場 広々とした大浴場で、日々の疲れを癒してください



温泉の紹介

泉質と効能

泉質: ナトリウム炭酸水素塩 (純重曹泉)

PH値: 8.5

効能: 神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器病、冷え症、疲労回復、慢性皮膚病、切り傷など

営業時間:
大浴場/10:00~22:00 (11~3月は21:00まで)
小浴場(なごみの湯)/10:00~21:00
お食事処/11:00~15:00 (14:00オーダーストップ)
17:00~21:00 (20:00オーダーストップ)
軽食コーナー/10:00~21:30 (21:00オーダーストップ)
定休日: 毎月第3水曜日・元旦
利用料金:
入浴料/大人400円、小中学生250円
小浴場(なごみの湯)/1時間貸し切り1,500円(入浴料別途加算)
※料金は平成26年6月現在のものです。

西米良温泉ゆた〜と

住所: 宮崎県児湯郡西米良村大字村所260-6
TEL: 0983-41-4126



森林浴デッキ 開放感あふれるウッドデッキ





大自然の中、ゆっくりとお休みください



キャンプ村のすぐ近くを流れている、清流「一ツ瀬川」

双子キャンプ村

西米良の大自然を最大限に活かしたキャンプ村。クヌギやスギなどの雑木林に囲まれた敷地内は、バーベキュー台や炊事施設もあり、手軽にアウトドアライフを満喫することができます。



木のぬくもりを感じることができる清潔なコテージ内



オススメ宿泊プラン 2名様より 予約受付中!

双子キャンプ村 + 夕食 + 温泉入浴
コテージ宿泊 お1人様 **3,800円**より(税込)

上記プランの営業日は 休館日・年末年始・7月・8月・ゴールデンウィーク期間以外となります

- 宿泊** 双子キャンプ村コテージにて
チェックイン15:00、チェックアウト12:00
- 夕食** 西米良温泉ゆた〜と館内のお食事処にて
営業17:00~21:00(LO20:00)
- 入浴** 西米良温泉ゆた〜とにて(営業時間内なら何度でも入浴可能)
営業10:00~22:00(11月~3月 10:00~21:00)



川のせせらぎを聞きながら、バーベキューが楽しめます

料金表(1泊2日) ※税別

貸出品	7月~8月	オフシーズン	単位・備考
入材料(布団無し)	200円	200円	1人
コテージ10人	8,000円~	6,000円~	1棟
コテージ5人	5,000円~	4,000円~	1棟
バンガロー	1,500円~	1,000円~	1棟
民家	15,000円~	12,000円~	1棟
管理棟	18,000円~	15,000円~	1棟

※料金は平成26年6月現在のものです。

ご予約は

株式会社 米良の庄 (平日8:00~17:00)

住所: 宮崎県児湯郡西米良村大字村所103-1 TEL: 0983-36-1833

※宿泊料については、受付時にお支払いください



囲炉裏のある民家に泊まることもできます

川の駅「百菜屋」^(歳)

「百菜屋」の自慢はなんと100歳にも元氣なおばちゃんたち。百歳になるまでは生涯現役でがんばろうという意気込みで、郷土料理の提供や物産品の販売をがんばっています。ゆずごしや手作り味噌など、地元ならではの特産品も並んでいます。



「かりこぼろ大橋」が目印



元氣なおばちゃんたちが心を込めておもてなし



肉厚でやわらかい椎茸が人気の「しいたけ南蛮」



手づくりの加工品や採れたて野菜が並ぶ店内

川の駅「百菜屋」

住所: 宮崎県児湯郡西米良村大字村所208-1 TEL: 0983-41-4245
営業時間: 売店/9:00~17:00 お食事処/10:00~15:00 定休日: 12月30日~1月2日

湖の駅

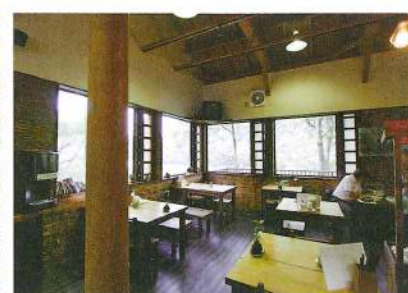
一ツ瀬ダム湖の湖畔にあり、食事と買い物をする事ができる立ち寄り処。一ツ瀬ダムは日本有数のヘラブナ釣りのポイントで、湖の駅では、釣りのコツからポイントまで教えてくれます。店舗前に造られた囲炉裏の休憩スペースで、ゆっくりお茶を飲みながら過ごされてみてはいかがでしょうか?



そばの風味が香ばしい一品「そばコロ」



道中、是非立ち寄ってください



一ツ瀬ダム湖を眺めながら食事をすることができます



無料でお茶を飲むことができる休憩所。村民の温かさを感じます

湖の駅

住所: 宮崎県児湯郡西米良村大字越野尾132-35
TEL: 0983-37-1660 営業時間: 8:00~17:00 定休日: 12月31日、1月1日

- 村所商店街
車で5分
- 百菜屋
車で10分
- 湖の駅
車で5分
- 越野尾小学校跡
車で20分
- おがわ作小屋村



紅葉 10月下旬～11月上旬



光男桜 3月中旬～4月初旬



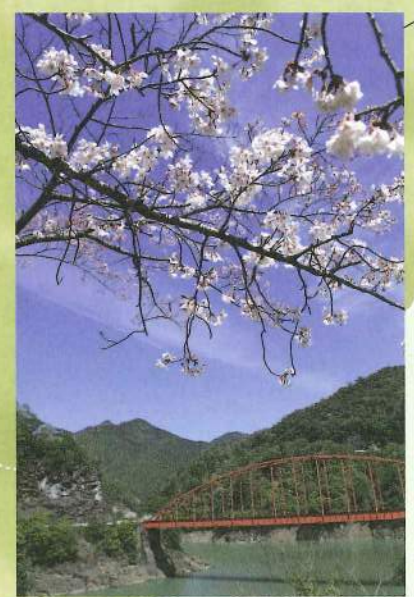
交流スポット 村所驛

村営バスの停留所「村所驛」。人の役に立つ、人に必要とされる、人が集い賑わう、人の縁を結ぶという「驛」の持つ意味通り、村の交流拠点となっています。

村所驛物産センター TEL: 0983-36-1220



ヒガンバナ 9月中旬～10月上旬



桜ロード 3月中旬～4月初旬



ねむの花 6月中旬～8月中旬

- 1 ヤマト自動車
TEL:0983-36-1640
地区: 村所
- 2 広末商店
TEL:0983-36-1054
地区: 上米良
- 3 小佐井商店
TEL:0983-36-1315
地区: 上米良
- 4 浜砂ミサエ商店
TEL:0983-36-1351
地区: 上米良
- 5 吉良商店
TEL:0983-36-1737
地区: 竹原
- 6 中武タツ商店
TEL:0983-37-1113
地区: 小川
- 7 甲斐商店
TEL:0983-37-1011
地区: 越野尾
- 8 国吉商店
TEL:0983-36-1074
地区: 板谷
- 9 桃源郷の宿 コテージ
TEL:0983-37-1240
地区: 小川 収容人数: 55名
- 10 児原稲荷神社参宿所
TEL:0983-37-1225
地区: 越野尾 収容人数: 25名

おがわ作小屋村

旧米良領主の居城址で、江戸時代中期から明治維新に至る約200年間、米良の中心地として栄えた小川地区にあります。米良山中の石工らが築いたといわれる石垣が周囲を囲んでおり、民俗資料館や民話館、民話の宿などが敷地内にあり、民話の里としても知られています。小川地区の人々が中心となった住民主導の地域づくりを展開しており、自分達の手で花や木を植えたり、手作り感あふれる郷土料理を提供したりしています。地元の元気な人々との交流も魅力のひとつです。



地産に柚子といった特産品のほか、手作りのまりなどを買うことができます



昔ながらの風情ある行まい



小川の四季折々の郷土料理をお楽しみください



第17代米良領主

「菊池則忠」公

版籍奉還の際、東西米良村、三財村寒川（現西都市）などの領内の山林を全村民に分け与えたことから、終生「米良の殿様」として村民の尊敬を一身に集めた名君。



歴史民俗資料館

伝統文化の継承と歴史民俗資料の保存を目的とした施設で、昔の農耕具や生活用品が約330点展示・保存されています。



入館料

	大人	小・中学生
1人あたり	200円	100円
団体10名以上	150円	70円

桃源郷の宿

どこか幻想的な雰囲気が漂う、素朴な木造平屋の宿泊施設。全12棟あり、キッチンやユニットバス、洗面台も完備しています。

入館料

民話の宿利用料金（1部屋5人定員）	
宿泊	1人2,500円 ※3名以上 1部屋7,000円
休憩	子ども 1人1時間 100円 大人 1人1時間 200円

※料金は平成26年6月現在のものです。



西米良民話館

囲炉裏のある田舎風情たっぷりの古民家。おがわ作小屋村内にある宿泊施設「桃源郷の宿」の母屋として、語り部やそば打ちなどの様々な体験などに活用いただけます。



宿泊等のご予約・お問い合わせ先

おがわ作小屋村

住所：宮崎県児湯郡西米良村大字小川西254
TEL：0983-37-1240

営業時間：
歴史民俗資料館・西米良民話館・売店/10:00~17:00
食事処/10:30~15:00
桃源郷の宿/チェックイン 14:00~17:00
チェックアウト 12:00
定休日：不定休

㊤ 二十八間四方白星兜鉢

昭和2年(1927年)に西米良村の竹原地区で、共同開墾中に太刀や鎧などとともに発掘された「星兜」。鉄板を張り合わせた「二十八間四方白」の華やかで美しい作風は、懐良親王伝承に因んだ遺品と推察されます。完全なものであれば国宝級の代物で、現在は東京国立博物館に収蔵されており、西米良村歴史民俗資料館にレプリカが展示されています。



㊢ 村所八幡神社

征西將軍の宮「懐良親王」と「米良重鑑」を祀った神社。西米良村役場から細い坂道を登った高い丘の上であり、例大祭で奉納される村所神楽は、約600年の歴史を誇ります。



㊣ 児原稻荷神社

国見山登山口の高台にある神社。五穀豊穡・漁業商業の守護神を祀っており、毎年12月には夜神楽が奉納されています。幕末の勤王の志士「甲斐右膳」「甲斐大蔵」の墓があることでも有名。



㊤ 甲斐右膳・大蔵父子の墓 宮崎県有形文化財

【甲斐右膳】文化14年、児原神社の神主「重質」の嫡子として越野尾に生まれ、初名「豊前」を改め「右膳」と名乗ります。米良領主「則忠」嗣子武臣の鹿兒島藩校造士館留学を斡旋したことでも知られており、人吉藩士「新宮多気馬」らと尊王運動に努め、やがて京都に赴き「真木和泉山田十郎」に会い「三条実美」に謁し、密勅を奉じて米良に帰ります。人吉藩では藩の許可なく、上京した事、武臣を勝手に留学させたことを理由に、文久3年11月9日「児原稻荷神社大祭」の日に捕らえられ、人吉に幽閉されます。元治元年6月13日48歳の時、獄中で死亡しましたが、明治24年、靖国神社に合祀され、同35年、特旨を以て正五位を追贈された人物です。

【甲斐大蔵】天保9年、「右膳」の嫡子として越野尾に生まれ、幼時、人吉藩士「加賀久米作」の門を叩き、漢学を学んだ後、安政元年の春、京都に留学します。文久元年まで「赤松祐似」に国学を学んだ後、米良領主「則忠」の近習となり、武臣の鹿兒島藩校留学では、父「右膳」とともに尽力したと云われています。以後、父とともに国事に奔走しますが、文久3年11月9日、父や叔父とともに人吉藩に捕らえられ、元治元年8月24日27歳で獄中で死亡。短い生涯でしたが、明治24年、父とともに靖国神社に合祀され、同35年に従五位を追贈された人物です。



夜神楽奉納のご案内

夜を徹しながら舞い明かし、五穀豊穣を神々に感謝し、魂を鎮め、春の豊穣も祈願する神楽舞。神楽は氏神様の祭りであり、お神酒や煮物料理などが、その土地土地でふるまわれます。お接待はあくまで神事儀式の一部なので、食事代わりに出されるものではありません。自らが氏子として参加する気持ちが大切なものであり、初穂料や御神前の焼酎2本を供えて参加するのが一般的です。里人の一人になった気持ちで、神楽と交流をお楽しみください。

㊤ 小川米良神楽

宮崎県指定無形民俗文化財

小川地区の鎮守神社「米良神社」に伝わる神楽。毎年12月の第2土曜日か第3土曜日に舞われ、当日は民話語りなどのイベントもあり大変賑わいます。「清山」「花の舞」「地割」「ハサミ」「幣差」と続く序盤の舞に続き、「神々の舞」があるのが特徴です。神々の舞の中にある「菊池殿宿神」は米良神社に伝わる神面であり、現在は西米良村歴史民俗資料館に保管されています。



㊤ 村所神楽 宮崎県指定無形民俗文化財

村所八幡神社に伝わる神楽。「大王様」をはじめとして、「爺様」「八幡様」などの神々が次々と登場します。これらの南朝に関わる神々が登場する神楽は、神性の強い「神神楽」と呼ばれ、後半部は「民神楽」と呼ばれて、神楽囃子(ばやし)が場を賑わし、社人の舞いぶりが一層、映えてくるのが特徴です。



㊤ 越野尾神楽 宮崎県指定無形民俗文化財

児原稻荷神社大祭で奉納されている神楽。序盤に土地の氏神であり、道祖神ともいわれる「栗三郎」と呼ばれる神が登場しますが、他の土地にならぬ祭礼として伝承されてきた神楽です。



い名称で、この土地独特の神であることが伺えます。東米良の銀鏡神楽、西米良の村所神楽や小川神楽の特徴を混交させながら、土地の神々を祀る祭礼として伝承されてきた神楽です。

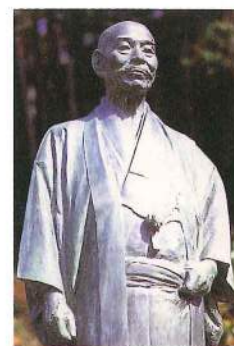
④ 菊池記念館

南北朝からおよそ400年間、米良の地を治めた菊池公。菊池記念館では、その名君との誉れ高い菊池公の歴史の一端に触れることができます。



① 菊池武夫公

南朝の忠臣「菊池武時」の子孫。鹿児島県永吉村（現鹿児島市）に生まれ、東京興亜専門学校（現亜細亜大学）の校長や熊本県隈府町（現菊池市）の町長も歴任された方です。戦後は西米良村に帰村し、村民から贈られた別荘（現菊池記念館）で悠々自適の生活を送りました。



菊池武夫公が住まれていた当時のまま保存されている記念館の中

菊池記念館

住所：宮崎県児湯郡西米良村大字村所2-2
TEL：0983-36-1020
営業時間：9：00～16：30
入館料：無料
定休日：12月29日～1月3日

④ 西米良村歴史民俗資料館

古くから焼畑農耕の地であった、西米良の農法の歴史や人々の暮らしを伝える民俗資料をはじめ、菊池一族の遺品や書簡など、村の歴史を伝える約10000点の貴重な資料を収蔵・展示しています。



昭和63年に国の重要有形民俗文化財に指定された全511点の焼畑農耕用具

木おろし歌

険しい山々に囲まれた平地の少ない西米良の伝統農法である焼畑。高所で枝を切り落とす危険な作業のため、登り歌・昼の登り歌・降り歌・身案案する家族や、傍にいる仲間たちに無事を伝える歌があります。



歴史民俗資料館

住所：宮崎県児湯郡西米良村大字村所2-41
TEL：0983-36-1030
営業時間：9：00～16：30
定休日：月曜日・12月29日～1月3日

入館料	大人	高・大学生	小・中学生
1人あたり	200円	150円	100円
団体10名以上	150円	100円	70円

※料金は平成26年6月現在のものです。

ワーキングホリデー

休暇を利用して、農家のお手伝いをし、もらったお給料で西米良村を満喫する、「西米良型ワーキングホリデー制度」。滞在費用はほとんどかけずに余暇を過ごすことができ、1週間滞在の場合、3日間を仕事に充て、残りもゆつくりと村を満喫する人も多いようです。ゆずやカラピーマンの収穫などのお手伝いをしながら、西米良村内でゆつくりと過ごしてみませんか？



※受け入れは農家が人手を必要とする時期のみとなります。スケジュール一覧などはありませんので、直接お問い合わせください。電話・FAX・メール等で受け付けております。

ワーキングホリデーに関する、お問い合わせ・お申し込み先

株式会社 米良の庄 (めらのしょう)

住所：宮崎県児湯郡西米良村大字村所103-1
TEL：0983-36-1833
FAX：0983-36-1811 E-mail：info@meranosho.co.jp



西米良の自然を満喫してください

贈っているのは「まごころ」です

昔ながらの生活が息づく西米良村では、山村の特性を活かした四季の幸と素朴な人情を、遠くふるさとを離れた皆様にお贈りしています。心のどこかにある日本人の故郷を思い出しながら、懐かしさと心温まる「まごころ」をご賞味ください。

ふるさと柚子の木制度

西米良村内で大切に育てられた、青柚子・黄柚子・冬至柚子をお届けします。会費：1口10,000円(税込・送料込) 発送：9月・11月・12月の年3回



ふるさと村民制度

村内で採れた野菜や柚子製品をはじめ、地元加工グループの手作り味噌や漬物など、西米良村の旬を感じてください。

会費：1口12,000円(税込・送料込) 発送：6月・7月・11月・2月の年4回

特典

- 西米良村の広報誌や旬の便りをお届けします
- 温泉入浴料割引 (ふるさと村民の証持参の方)
- 西米良村の行事参加
- ふるさと宿の紹介
- 西米良村にお越しいただいた方にワッペンのプレゼント



お問い合わせ・お申し込み先

西米良村観光協会

住所：宮崎県児湯郡西米良村大字村所15 西米良村役場 総務企画課内
TEL：0983-36-1111 FAX：0983-36-1207 E-mail：karikobozu@vill.nishimera.lg.jp



イセイモ

一見サトイモにも見えますが、米良に昔からある在来種で、収穫期は冬の寒さが増す1月から2月のころ。ほくほくとした食感と野趣あふれる甘みのある味わいが特徴で、煮崩れしにくいことから、煮しめの具材などによく使われています。

椎茸

肉厚でしっかりとした歯応えは西米良村ならではの。遠火で炙り焼きにして、そのまま食べてもおいしく、干し椎茸などは出汁を取ったり、水で戻してから煮物などにして食べると美味しくいただけます。



ゆず加工品

ゆずの風味を生かした様々な加工品が西米良村では作られています。うどんやソバに入ると、ピリッとした風味が食欲を増してくれる「ゆずこしょう」や、お湯に入れて溶かして飲むと体の芯からポカポカになる「ゆず茶」。ゆずをまるごと1個使い、手間暇かけて手づくりで作られる風味豊かな「ゆずようかん」など様々な加工品が販売されています。



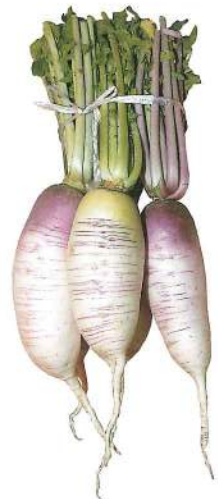
西米良サーモン

マス系とイワナ系の掛け合わせにより生まれた西米良村の新しい特産。刺身でいただく、サーモンよりもさっぱりとした味わいと食感が人気を呼んでいます。村内では西米良温泉ゆた〜との御食事処で食べることができます。



米良糸巻き大根

幾重にも筋が入ることから、その名が付いた米良の在来種。収穫期は毎年11月から12月初旬。普通の大根に比べて糖度が2度も高く、生で食べると程よい甘さが口の中に広がります。調理しても煮崩れしにくく、食感はカブのように柔らかいのが特徴です。



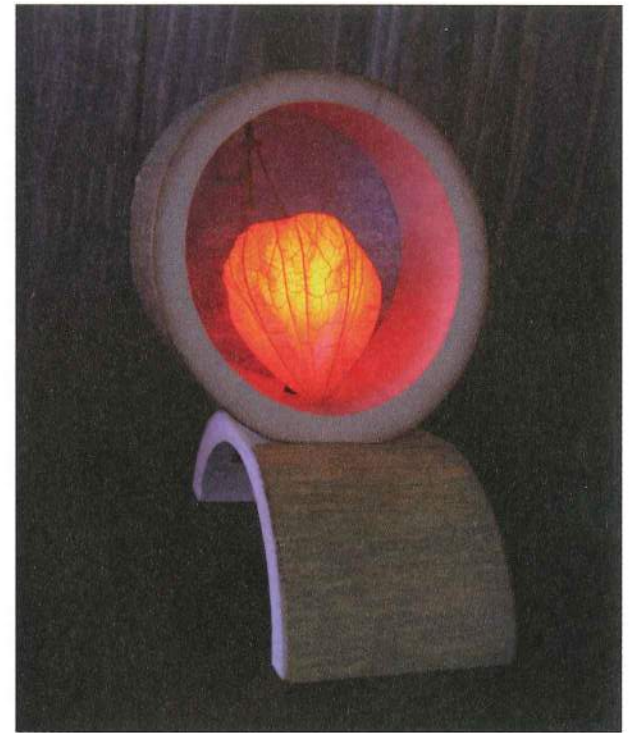
ほおずき

鮮やかな朱色の実の先まで綺麗にスッと伸びている大きなハート型なのが特徴。贈答用や観賞用にどうぞ。



カラーピーマン

赤や黄色にオレンジの色鮮やかなカラーピーマンは、通常の緑のピーマンに比べ、ビタミン成分などを豊富に含んでおり、西米良で作られるものは、ピーマン特有の臭みもなく、糖度が高く、生で食べてもおいしいと評判です。



ほおずきアート

ドライフラワーにしたホオズキの中に、豆電球を入れ、西米良村特産の竹やカズラでコーディネートした、ほおずきアート。灯りをつけると優しい赤い光が心を和ませてくれます。

ほおずきアート体験

世界に1つしかない、あなただけのほおずきアートを作ってみませんか？
体験料:1人 1,500円～

[体験のお問い合わせ先](#)

西米良村観光協会 TEL: 0983-36-1111

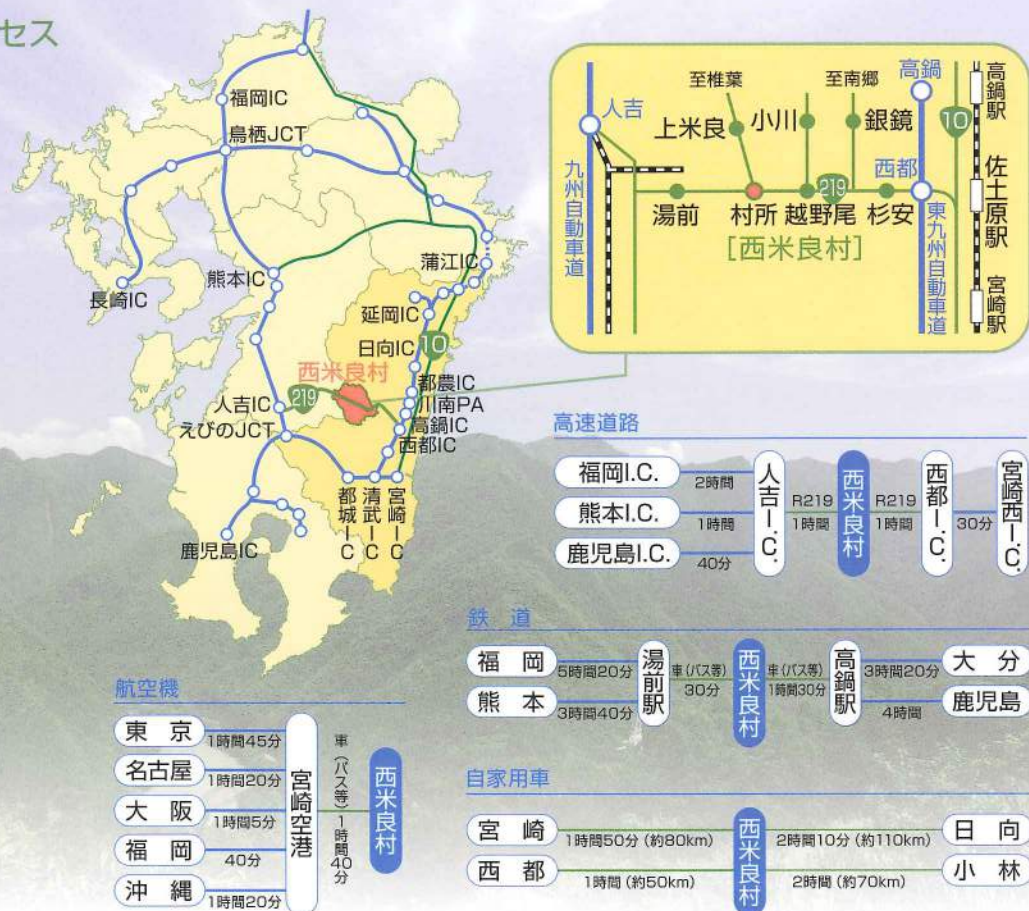


ゆず

古くから栽培されている、西米良を代表する農作物。皮を薄く削いで汁物に入れたり、細く切って煮物に添えたり、用途は様々です。冬至にはお風呂に入れてユズ湯にすると、ユズ特有の香りが浴室いっぱいになり、肌もすべすべになります。

POST CARD
[] [] [] - [] [] [] []
STAMP

交通アクセス



宮崎交通バス時刻表 (西都⇄西米良村)

西都	杉安峡	瓢丹淵	一ノ瀬	越野尾	村所	温泉館	温泉館	村所	越野尾	一ノ瀬	瓢丹淵	杉安峡	西都
0円	320円	850円	1,100円	1,190円	1,630円	1,730円	0円	100円	780円	900円	1,200円	1,630円	1,730円
10:20	10:35	10:57	11:11	11:16	11:46	11:51	-	△6:05	△6:32	△6:40	△6:54	△7:16	△7:31
△12:40	△12:55	△13:17	△13:31	△13:36	△14:06	△14:11	-	7:50	8:17	8:25	8:39	9:01	9:16
15:30	15:45	16:07	16:21	16:26	16:56	-	12:55	13:00	13:27	13:35	13:49	14:11	14:26
17:30	17:45	18:07	18:21	18:26	18:56	-	△17:00	17:05	17:32	17:40	17:54	18:16	18:31

※杉安峡から村所の間は、停留所以外でも自由に乗降できます。
 ※△は日祝運休
 ※村所～温泉館までは、村の路線で対応

村営バスやまびこ時刻表 (湯前町⇄西米良村)

湯前駅	中猪鹿倉	荒谷	鶴瀬	行地谷	深瀬	団	村所橋	診療所	中学校下	温泉館	中学校下	団	深瀬	行地谷	八重公民館	横谷峠	猪鹿倉	野中田	湯前駅
100円										800円									
-	-	6:45	7:00	7:07	7:16	7:20	7:21	7:22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7:23
8:30	8:33	8:47	8:59	9:07	9:17	9:21	9:22	9:23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9:24
12:00	12:04	12:18	12:30	-	12:32	12:36	12:37	-	12:39	12:42	12:44	12:47	12:48	-	-	-	-	-	12:48
15:45	15:48	16:02	16:14	16:22	16:32	16:36	16:37	-	16:39	16:42	16:44	-	16:47	-	-	-	-	-	16:47
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18:00	-	-	18:06	-	-	-	-	-	18:06
10:00	10:04	10:18	10:29	10:37	10:47	10:51	10:52	-	10:54	10:57	10:59	-	11:04	-	-	-	-	-	11:04
15:30	15:34	15:48	16:00	16:08	16:18	16:22	16:23	-	16:25	16:28	16:30	-	16:34	-	-	-	-	-	16:34

※温泉館休業日 (毎月第3水曜日) の経由便は運休



村所地区周辺の宿泊所ご案内

- 1 民宿 あさぎり**
TEL:0983-36-1862
地区:村所 収容人数:40名
菊池記念館の真向かいにある宿。西米良の四季に応じた山の味覚が楽しめる定食を予算に応じて出しています (要予約)。一ツ瀬川の遊漁証の販売も行っているのに釣りに人気。
- 3 森山旅館**
TEL:0983-36-1028
地区:村所 収容人数:15名
気さくな女将が出迎えてくれる、アットホームな宿。西米良の旬の素材を使った自慢の手料理をいただきながら、旅の話に花を咲かせてみては?
- 6 佐伯旅館**
TEL:0983-36-1046
地区:村所 収容人数:12名
優しいご夫婦が営む暖かい雰囲気のある宿。旅館の一角には、昔ながらの雰囲気のある居酒屋「鳥佐久」もあり、ホルモン焼きがおすすめ。
- 9 民宿 ひろすえ**
TEL:0983-36-1016
地区:村所 収容人数:22名
素朴な佇まいで、のんびりくつろぐことができる民宿。村所地区の中心地にあるのでまちあるきに最適な宿です。
- 17 民宿 いっせい**
TEL:0983-36-1069
地区:村所 収容人数:28名
木をふんだんに使った室内が温かい雰囲気の民宿。お泊りするところと洗濯までしてくれるので、登山や長期滞在するのにオススメの宿です。
- 32 富士屋ビジネスホテル**
TEL:0983-36-1115
地区:村所 収容人数:48名
村所地区を流れる川の袂にあるビジネスホテル。元気なお母さんと笑顔の優しい息子さんが営んでいます。
- 34 双子キャンプ村**
TEL:0983-36-1833
地区:村所 収容人数:150名
西米良の大自然を最大限に生かしたキャンプ村。雑木林に囲まれた敷地には、炊事施設が常備されており、手軽にアウトドアライフを満喫できます。レンタル用品も充実。

POST CARD





西米良村観光協会

〒881-1411 宮崎県児湯郡西米良村大字村所15

TEL **0983-36-1111**

URL <http://www.nishimera.jp>

E-mail karikobozu@vill.nishimera.lg.jp
